



環境にやさしい まちづくりを目指して 「家庭でできる夏の省エネ対策」

高梁市環境イメージ
キャラクター

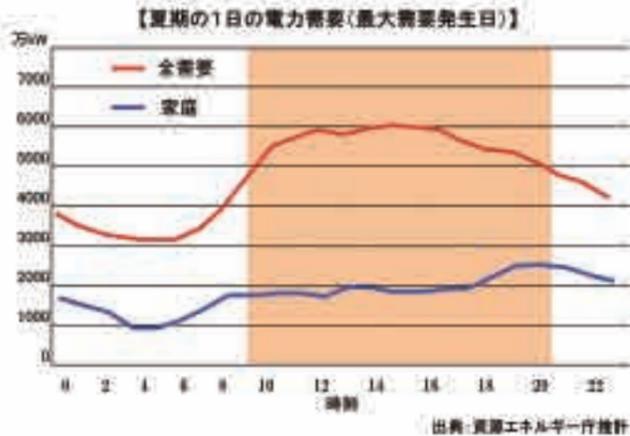
地球温暖化防止のためには、省エネルギー対策による二酸化炭素(CO₂)の排出削減が重要です。また、エネルギー資源の大部分を海外に依存する日本にとって、省エネ・節電により無駄に資源を消費しない生活スタイルを心掛けることも重要です。特に冷房等により電気使用量が多い夏季の節電対策は、非常に重要な取り組みとなっています。

今回は、夏場の節電による省エネ対策について紹介します。

夏季の電気使用量

東日本大震災後の電力不足に備えるため、7月1日から東京電力、東北電力管内の大規模な工場などを中心に、昨年比15%

グラフ①

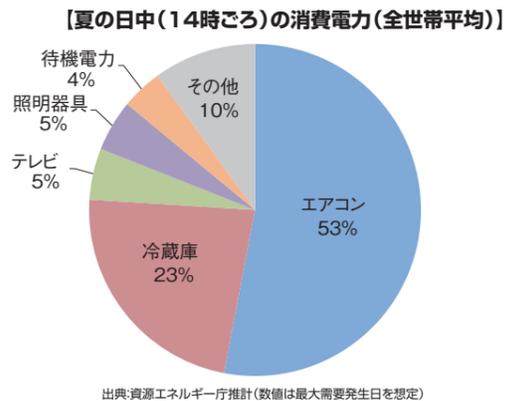


の節電を義務付ける電力使用制限令が発動されました。また、中小企業や一般家庭にも15%節電を呼びかけており、節電に向けての取り組みが、本格的に始まっています。

電気の使用量は、5月ごろから夏に向けて徐々に増えていき、7月から9月にかけて冷房による需要を中心に、1年ではいっばん多くの電気を使う時期を迎えます。

1日の中では、14時ごろに家庭を含む全体の電力需要が最も大きくなります(グラフ①を参照)。電力消費の半分は、エアコン(53%)によるもので、次いで冷蔵庫(23%)、テレビ(5%)、照明(5%)、待機電力(4%)の順となり(グラフ②を参照)、夏の日中(14時頃)は、在宅の家庭で平均約1200Wの電力

グラフ②



を消費しています。また、外出中の家庭でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約340Wの電力を消費しています。効果的に節電をするためには、電力消費の占める割合の多いものから順番に節電の工夫をすると良いでしょう。

家庭でできる節電 7つのポイント

家庭でできる節電対策はさまざまですが、ここでは環境省が推奨する「家庭でできる節電方法」7つのポイントを紹介しましょう。

- 1. こまめにスイッチオフ!**
エアコン、照明器具、テレビ、パソコンなど必要のない時は、小まめにスイッチを切りましょう。
- 2. 待機電力を削減!**
使用していない家電製品は、コンセントを抜くなどして「待機時の消費電力」を削減しましょう。



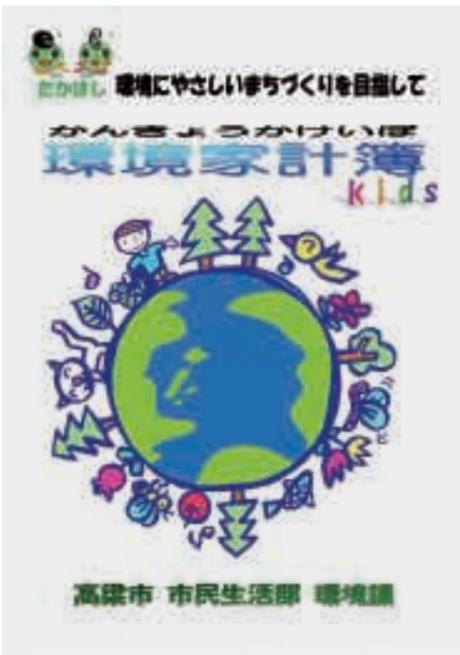
- 3. エアコンで節電!**
①カーテンで窓からの熱の出入りを防ぐ
②フィルターは小まめに掃除する
③室外機の周りに物を置かない
④扇風機を併用して、風向き・風量を上手に調節する
⑤室温は適温(28℃が目安)に

- 6. テレビで節電!**
テレビを見ないときは消すというのには当然ですが、省エネモードでの使用や、音量を抑えるなどの工夫も大切です。
- 7. 他家電品も工夫で節電!**
炊飯器や電気ポットでの保温を控えたり、洗濯のまとも洗い洗濯回数やすすぎ回数などを減らすなど工夫次第で節電は可能です。



第で節電は可能です。

環境家計簿を利用ください



地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO₂)は、私たちの日常生活のエネルギー消費によって増え続けており、地球温暖化による海面の上昇や異常気象などの環境影響が懸念されています。

市は、地球温暖化防止に各家庭でも取り組んでいただくために、環境家計簿を作成しました。

環境家計簿とは、電気・ガス・灯油・ガソリン・水道などの家庭で消費されるエネルギーやゴミなどの廃棄物から排出されるCO₂の量を計算するものです。

お子さんと一緒に取り組める「Kids」版も作成しましたので、ぜひご利用ください。

環境家計簿は、市ホームページからダウンロードできます。

住宅用太陽光発電システムの設置補助

市は、平成23年度の高梁市住宅用太陽光発電システム設置費補助金の交付申請受け付けを行っています。補助単価は6万円/kW(上限4kW・24万円)です。予算額に達した時点で受け付けを終了します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

■問い合わせ
環境課環境政策係 (☎0259)